夕刊
磐城日日
発行所
社團法人 磐城日日新聞社
福島県磐城市湯本字一五番地
電話387番
兼編集発行人 村上清

各種火鉢 大量入荷 大特売中
磐城市西町
㋡渡邊陶器店
電六二八
大歓迎 チケット

委員長報告と市政一般質問演説

磐城市第十一回定例議会は、既報の如く去る二十六日開会され、二十七、二十八の両日は各委員会を開催、本二十九日午前十時から本会議を開催した。

午前中は、各部委員長の報告があり、午後これに対する質疑応答が行われた。

先ず遠藤総務委員長から泉田部落の分市問題が円満解決した事を報告くし、小野務平氏から別項の如き長瀬前助役退職金問題の中間報告、水道、土木、文教、厚生、農政、総務、港湾各委員長の審議報告があり、議案議了の後、左の質問通告者の質問演説、並に市名変更問題を討議する豫定である。

質問通告者

▲一、土木行政と一般市政について　江尻三藏郎

二、1、市税税率の引下と、滞納整理の状況について　木村祐

2、機構改革について　木村祐

三、1、市税一般について　杉山美佐雄

2、辨別に小学校建設方について（教育の機会均等を含む）　杉山美佐雄

3、労働会館建設について　杉山美佐雄

四、1、市政一般について　高木武士

2、その他　高木武士

五、平市に於て計画せる市営バス運営について、その後当市に呼びかけがあつたか　小林重三

六、1失業対策について　及川正枝

2、一般市政について　及川正枝

七、1、市財政に関する根本方針について　竹田千里

なお、会期は明日までであるが、大体本日中に審了、閉会の模様である。

盛澤山の請願文書

補助申請等二十六件

磐城市の九月定例議会で審議された陳情文書は左の如くである。

▼側溝工事施行について　栄町区長　遠田武夫　外十二名

本市栄町四、五隣組に面する埋立地道路の側溝工事を片側だけでも早急施行して貰きたい。

▼中之作港口水路測量に対する補助金について　中之作漁業協同組合　吉田義

中之作港、修築工事に伴う潮流々砂の変化に伴う水路測量実施につき、これが費用に対して補助金を交付願いたい。

経費総額二八一、五五〇円の七〇%。

▼江名信用組合増資につき出資方について　江名信用組合長　理事　新妻長蔵　外十二名

江名信用組合事務所建築後三十数年を経、老朽甚だしく、今回改築することとなり、これ等資金調達のため、増資することになつたので、市より五〇万円の出資をお願いしたい。

▲中島市街電飾門建設費助成方について　中島市街電飾アーチ建設委員会　樋口二郎　外十名

今回中島商店街にネオン・アーチ二基、街路燈六基を建設し、工費二百二万円を要したので、市より四〇万円の補助を願いたい。

▼電飾アーチ建設費補助金交付方について　小名浜本町銀座会　会長　小島軍平

今回本町銀座街に電飾アーチ二基八二万二千円を要したので、市より補助を交付されたい。

▼給水料金の免除方お願いについて　小名浜漁業協同組合長　理事　三代義勝

江名機船底曳網漁業協同組合長　理事　小松敬次郎

中の作漁業協同組合長　理事　吉田義

小名浜、江名、中の作各港の廻船誘致の一策として給水料金を無料にて、当組合に於て提供しているが、現下の漁業不振に伴い組合員の負担はバク大である。仍て給水料金の免除方お願いしたい。

▼本谷セキ新設について　島区長　若松岩松

本谷セキ新設につき島部落耕地に水害を及ぼさざるよう六つの条件に付善処方法願いについて

▼水路改修方について　耕作者代表　田中譲　外十名

大字下神白字狩亦より館の腰に通ずる水路は築造粗悪のため支障あるので至急改修方お願いしたい

▼公民館主事並に公民館建築方について　鹿島地区青年会員　鹿島地区青年学級生徒　門馬保男　外一二四名

当鹿島地区の公民館活動に最も重要なる事任公民館主事と、公民館の建物がないので、至急主事任用と、公民館建設の実現を図られたい。

▼五市起重機建設補助金交付方について　江名機船底曳網漁業協同組合長　理事　小松敬次郎

今回江名港物揚場に漁業用五屯起重機を建設する事となり、工事費として金五十四万円を必要といたします。

▼道路改修方について　下川区長　笹川伊佐夫　外一名

大字下川字剣部落中央県道に通ずる道路（い申坂）は、急坂なるため早急これを改修方お願いしたい

▼農道改修方について　下川区長　笹川伊佐夫　外一名

大字下川、稚子塚より大明神郷土及び中の谷を経て大畑に結ぶ馬車道路、昭和二十五年着工したが中の谷地区で中止され、通行上不便があるので至急完成方御願いしたい。

▼井セキ築造について　（黒須野の二セキ）　黒須野区長　下遠野武道　外十八名

▼泉小学校東側県道側溝並に排水路構築について　泉小学校PTA会長　佐藤信好

▼粋氷機並に輸送機設備新設に対する補助金交付方について　中の作漁業協同組合　理事　吉田茂

▼島部落内橋梁並に側溝工事施行方について　島区長　若松岩雄

▼小名浜第一中学校増築について　小名浜第一中学校長　鈴木孝雄　同　PTA会長　石井正　外三名

▼災害橋梁架橋方について　下矢田区長　根本直三郎　外三名

▼飯田セキ改修方について　飯田区長　赤坂稔　外四十一名

▼漁港防波堤及び荷揚場工事補助金交付方について　剣浜漁業協同組合長　滝内進

結論はまだ出せぬ

長瀬前助役退職金問題

磐城市議会の懸案となつていた前助役長瀬国三郎氏の退職金問題は小野務平、遠藤勝馬、菅原勲、木村祐、高木武士の五議員を特別委員として、これが法的処置について研究中であつたが、小野委員長から本日の議会に於て。

「現在平の増田、大嶺両弁護士に依頼して研究中であるが、最終結論を出すにはなお相当の時間を貸して貰いたい。」

と中間報告をなし、議員の諒承を求めた。

福島丸 トラック島入港

磐城市小名浜水産高校所属船「福島丸」は二十九日朝六時四十五分トラック島に入港した。

入港理由は、五洋水産所属の瑞洋丸の乗組員松田良一郎氏が、瑞洋丸で操業中負傷してトラック島で治療中だつたのを引取るためであり、神奈川県三崎港に入港豫定は十月八日頃、三崎に帰港後はすぐ仕込を完了して実習生六名が下船し、変つて漁業科八名、水産製造科二名、計十名が乗組む豫定になつて居る。

密輸の疑いはれる

小名浜海上保安部では、二十五日出入国管理法違反容疑で逮捕した朝鮮京城府新通生れ金子こと金尚基（四五）に対し、密輸等の疑いに付いて取調べて居た結果その事実はないことが判明した。

二十九日、片山保安部長談

現段階では密輸等の事実はない唯出入国管理法違反は確かである。

尚、先きに逮捕された鈴木嘉次（四〇）は私文書偽造なので、平に身柄送検された居る。

農業委員会で 米穀統制撤廃運動

磐城市農業委員会（会長村上重一氏）は米コク統制撤廃反対と、農林豫算削減について署名運動を展開することになり、この署名簿を十月十日までに完了することになつている。

この署名運動は県農業委員会の指示によるもので、磐城市農業委員会は強力にこの運動を展開することとなつた。

これによると、政府は防衛費予算の膨張により、農林豫算と国の食糧統制撤廃の方向に進んでいる。

国民食糧を守る為と、農村経済確立を守るためにこれが反対署名運動を展開、中央に対し強力な陳情を行うことになつたものである。

特別失業對策事業

道路の補強と物揚場の施設

小名浜港務所では、三十年度特別失業対策事業として、磐城市辰巳町地内のハトバ荘より三千屯岩壁に通ずる道路の補強工事と、同市下神白三崎の物揚場の施設工事を豫算総額六〇〇万円を以て十月中旬より着工する運びとなつた。

従来失対事業は、河川補強工事及び道路工事に重点をおかれて来たが、港湾関係の失対事業は県に於ても初めてのものである。

この特別失対工事は既に国より内示されており、国費六割、県費四割によるもので、県費四割の二四〇万円については、明三十日より行われる県会に於て承認を得ることになつている。

底曳漁業結果報告

来る十月十二日午前十時より磐城市古港県水産試験場に於て底曳漁業試験操業の結果報告を行うことになつた。

病気を苦に ネコイラズ自殺未遂

【今晩】北東の風くもり時々小雨

【明日】北東の風、くもり一時雨ですが、晩あたりより本降りになります。

【明後日】東寄りの風で風雨が強くなる見込です。

天気予報

去る廿八日午前十時半頃磐城市栄町小名浜造船製材所工場控室で苦悶している男を通行人が発見して磐城署に届出た。同署の調べによると、その男は同市古港一七三番地無職斎藤忠三さん（五二）で、背髄炎を患つていたので病気を苦にしてネコイラズをのみ自殺を図つたもの。なお、斎藤さんは手当が早かつたので一命をとりとめた

アンコール号
◇求む優良外務員
6ヶ月拂いで
125CC6馬力
A型 115,000円
B型 105,000円
C型 90,000円
安価 大衆車 堅牢
高橋輪業商會
磐城市上横町電789

内科・外科・X線科
石井醫院
磐城市本町 電話四七二番
入院随意

具器明照・事工氣電
毎度ありがとう存じます
電氣工事・照明器具は
当店へ!!
吉田電気工業所
磐城市本町通り
電話八〇八番

☆内外線請負業☆
（迅速なる施工）
（親切・丁寧）
をモットーとする
酒井電機
磐城市下明神町四八
電話七二八番

秋！小鳥のシーズンです。
可愛い小鳥を飼いましょう。
下槻町の
能澤小鳥店
▼洋鳥、和鳥、器具類一式
▼飼料、籠

水産高校新築移轉

今月県会で予算通過の見込み

福島県立小名浜水産高等学校を市内下神白地内に新築移転を促進すべく、立花市長を会長に水産高校新築期成同盟会を七月中旬結成してより約三カ月、その間各関係方面に働きかけ、新築工費約三千万円は県財政窮迫のため難航していたが、この程県とおしがついたので九月県会に上程される運びとなった。

水産製造科だけでも来春四月には移転出来る見とおしのもとに各関係者は奔走している。

敷算通過次第敷地一万五千五百八十四坪に校舎二棟、二階建九四〇坪、体育館兼講堂一五〇坪、各科工場一棟九〇坪、倉庫と便所四〇坪の規模のものである。

なお、本二十九日水産高校の関係者が資料を持って出張した。

白晝店頭から　白米一俵を盗む

磐城市原木田無職橋本兼次郎（五二才）は二十五日午後一時半頃同市横町精米業小名山左京さん一家が昼食中店先に置いてあった白米一俵（四千八百円相当）をせつ取して磐城署員にせつ盗容疑で逮捕された。

調べによると橋本は米、麦、木炭等三十二俵のぬすみを働いて居たもので、手口は高級自転車に籠をつけ、商店等のスキをみて犯行を重ねたり、農家の留守中の処から盗んだりして同市大原、住吉等の部落から白米一石一斗、麦十五貫薬種八貫等を盗んで居たもの。

つり便り

朝釣れる大ハモ

海水浴場、日本水素下の渚より一〇〇米位で連日一本一五〇匁位の大ハモが揚つて居る。

道具で特に注意を要するのは「はりす」は五厘以上のものが是非必要である、はりはセイゴのねりが良い。

餌はサンマの切味が良く、ハモ、イシモチ、ホウボウ等まじりで面白い釣のダイゴ味を味合うことが出来る。

時間は朝三時頃から明け方までなので一寸とまるだけである。

魚菜市況

◉鮮魚　小名浜魚市場

さんま五七―六五

◉青果　小名浜中央青果市場

玉子二三―一一　ねぎ一〇〇―九五　玉ねぎ六〇―四〇　人参一〇〇ぞろ　七〇―六〇　馬鈴しよ四〇―二五　さつま六〇―四五　さといも八五―七五　大根四〇―二〇　丸大根三〇―二〇　ほうれん草一五―五　たまな八〇―七六　きうり二三〇―一〇　なす三〇―一五　とまと四〇―三〇　くり二〇〇―二九五　なし二三〇―七〇　枝豆七〇―三〇

椅子・修繕・張替
三光椅子店
磐城市字後宿二二

「華日辭典」の資料還る（上）

福島県立小名浜高等学校教諭　馬目太平

由来中国と我国ほど歴史的にも文化的にも又其の他の諸関係に於いても密接な国はなかつた。一千三百五十年前の昔、我国最初の女帝推古天皇の時聖作福利を通事として大礼小野妹子を隋朝の皇帝ヨウ帝に遣わしたのを始め、以来彼我の往来頗る盛んであつたことは今更述べるまでもない。

中国の歴史や文学の研究については、我国は他の何れの国よりも盛んであり、又進歩していることは当然の事とは雖ども以て誇りとするに足るであろう然し乍ら真に中国事情を研究し、中国民族中国人を理解し熱意の疎通を計り心の底から融け合つて親善の実を挙げようためには、現に使われている中国現代語を通して直接彼等と話合うことから出発せねばなるまい。

東京、大坂の外国語大学各都市の経済専門学校や、中等商業学校等では、終戦前までは中国語（又は満洲語……同一語）の講座学習が盛んに行われたが、敗戦を機会にとまつてしまつた。

只東京、大阪の外語大学等は依然として衰えなかつたことは、さすがに敬服する次第である。

来我国日本人の頭には「中国語は現代中国人の存在は全く忘れ去られたが如き有様であつた。

最近に至つて漸く日中友好協会や新聞通信放送代表団、衆、参両院議員団、日中貿易促進団体、学者団等による中国訪問が次々と行われ、又中共からも衛生部大臣紅十字会長李徳全（リー・ド・チョヤン）女史一行の日本訪問等によつて、戦後彼我両国の推移や事情を直接見たり聞いたりして、お互に理解を深めて融合を計り、やがて実現さるべき平和国交回復の素地を作りつつあるものとして、私は人一倍関心を寄せ密かに欣びを感じているものである。

更に緊急を要す人造上の重大懸案である在留邦人の引揚と、無実の汚名「戦犯」なる罪科により戦後十余年も経た今日、尚異国のおかに在つて懐しい故郷の土も踏めずが、これ暗黒時代の変化や事情の推移を無視した考えはあるまい。（した日華辞典とか、華日辞典に至つては誠にヨウ〳〵たる有様で私の知る範囲では左の二、三に過ぎない。

折角中国語研究に志した人々でもその不便困難に堪えないで中途にザ折した人も少なからずあろうと察せられる。（本市内の佐藤文雄君は熟心な研究者である）

石山福治著　華語大辞典（磐城農業高校所蔵）

井上すい著　井上支那語辞典（コンサイス型）

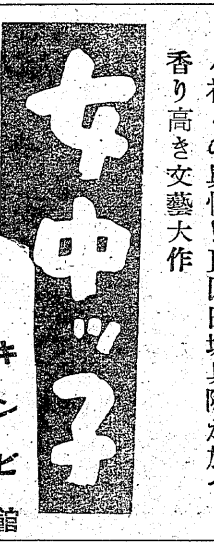
の二著が目ぼしいところであろう又日華辞典としては

東京帝大教授　張廷彦
東京外国語学校教授　包象賓
陸軍大学教授　宮島吉蔵
平岡竜城

（共著日華大辞典）

映畫紹介

かたくなな少年の心をゆすぶる女中〝初〟の眞情!!巨匠田坂具隆が放つ香り高き文藝大作



二十七日から四日まで

左幸子　伊庭輝夫
藤夕起子　しど戸碇
高田敏江　細川ちか子
北林谷栄　東山千栄子
佐野周二

梗概

東北の雪の深い一寒村から「東京の女中」になる希望で胸一杯にしてやつてきた義本初が、眼の廻るような都会の雑踏の中を漸くたどりついた家は、日東時計の総務部長加治木恭平の家であつた。加治木夫人梅子は初の突然訪問にいささかあきれた。初が中学校の修学旅行で東京に来てデパートで買物をしたが、財布を失して困つている時、たまたま梅子が居合せてあんまり可哀そうなので、お金を払つてやつただけの知り合いに過ぎない家の裏口の模様が大分変つて来ながら手で拉手をとるのであつたが、加治木家で一番変つたのは家中から嫌われている腕白小僧の勝美だつた。

こつそり母親に内緒で拾つた仔犬を飼う勝美の手助けをした初は、勝美少年の信頼を受けはじめた。

藤十郎の戀

一日迄上映

磐城座

元ろく十一年春京都四条河原の北と南に、二つの芝居やぐらが相対して、景気をつけている。

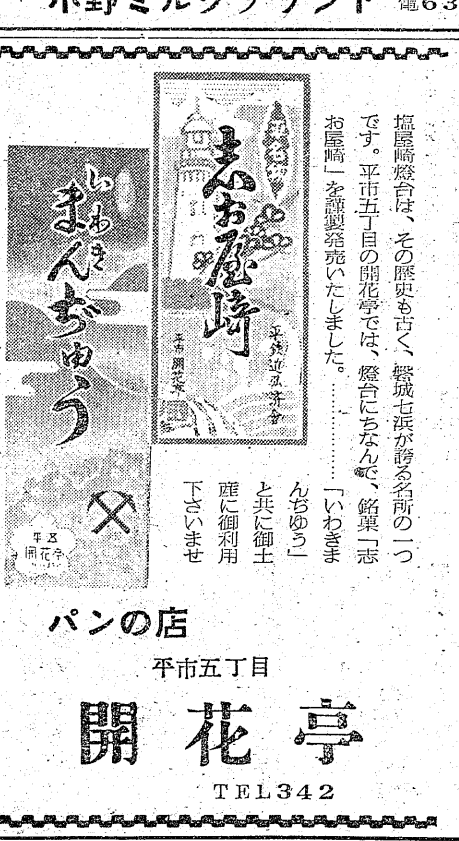
その一つは都万大夫座、今一つは布袋屋梅之丞座の二つである。

そのおの〳〵の座を背負つて立つ京都方の名優が坂田藤十郎、今一人は江戸より都上りの中村七三郎で、この競演が今や、満都の人気をさらつているのであつた。

だが、都の人の前人気、藤十郎が京の人間という身びいきもあつて中々の人気、今日は万大夫座のほろまくをはりめぐらしての野遊びで、まくの外には、藤十郎の顔をのぞきみたい男女でひしめき合つていた。

まくの裏には、料理屋の宗清の板場が出張してきている座頭の女将おカジが、静かに行き届いた指図をしていたが、ホツト一息入れると、獣のひびきに耳をすますと「藤十郎さまやな……」とつぶやきながら、ふらふらと、まくの外へ出て行つた。

三輪車運転手募集
※ 運転免許書を有する者
※ 住込み可能にして満20才以上
委細面談の上採用す
磐城市いわき座前
小野ミルクプラント　電63



塩屋崎燈台は、その歴史も古く、磐城七浜が誇る名所の一つです。平市五丁目の開花亭では、燈台にちなんで、銘菓「志お屋崎」を謹製発売いたしました。……「いわきまんぢゅう」と共に御土産に御利用下さいませ
パンの店
平市五丁目
開花亭
TEL342

29日迄　大人55円小人30円
今日の映畫案内!!
金星座
終着駅
別離のかなしみ、つのる
慕情　最後の恋の二時間
ジエニファア・ジョーンズ
モンゴメリイ・クリフト
監督　デ・シーカ
ケイン號のハン亂
今次大戦　南大平洋の怒涛下の人間性の反抗
ハンフリイ・ボガード
ホセ・フアーラー

開店
カフエー　かもめ
磐城市沖見町
伊勢屋向い
☆サービス本位……
☆親切本位……
【求む】女中さん数名

黒澤外科産婦人科
◎入院室手術室完備
小名浜第一小学校隣
電話（磐城）四五番
上映中　キンビ館
砂漠は生きている

本場石川木炭
各種取揃御用命へ御待ち致して居ります
磐城市竹町七五
デンワ一七二バン
★買って徳用
★使って経済
佐久間商店

時計はやっぱり
金光堂
平市五丁目
電話一九五
コロビア ビクター ラジオ 電蓄各社レコード 楽器 オルゴール 電気器具 レコードの吹込